

おきなわ市トピックス

NEWS TOPIC

1/28
・29



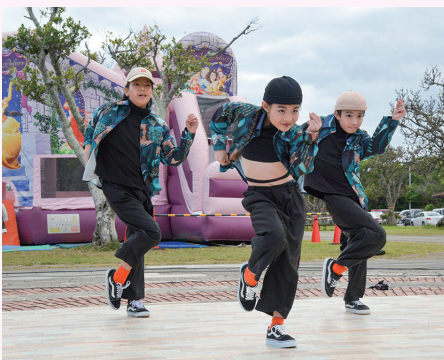
第46回 沖縄市産業まつり \ ちむどんどん 数ある名品 ここにあり /

本市で生産・加工された物産等を展示・販売し、生産者の意欲の高揚と市産品に対する市民等の意識の啓発を図る「第46回沖縄市産業まつり」が、県総合運動公園体育館及び周辺広場で3年ぶりにリアル開催されました。

会場には、新里酒造株式会社の泡盛、のぼりや製菓有限会社のジャーマンケーキ、知名オーディオのスピーカーなど市内の物産・工芸を中心に魅力あふれる選りすぐりの品が並び、知花花織の小物販売、うちなー工芸の革細工作りの体験、市内の企業による最先端技術を実感することができるテクノロジーブース、屋台やキッチンカーが並ぶフードエリアなど、来場者は市内のまーさむん・すぐりむんを堪能しました。

本市の兄弟・姉妹都市の大阪府豊中市のプレゼントガチャ企画、愛知県東海市のみかんや、山形県米沢市の米沢牛串焼き、交流団体の山形県最上広域の山菜そばなど、県外のブースにも行列ができました。

本市のエイサーキャラクターのエイ坊や豊中市のゆるキャラのマチカネくんとの交流、キッズによるダンスパフォーマンスや三線ライブなど多彩な催しで、大人も子どもも3年ぶりの産業まつりを楽しみました。



広報おきなわ 585号(2023年3月発行)



1/11



元NBA選手による バスケットボールクリニック！

FIBAバスケットボールワールドカップ2023のプロモーション動画制作の一環として、NBA優勝やオールスターに3度選出されるなど数々の実績を残した元NBA選手リチャード・ハミルトン氏が沖縄を訪れました。この機会に、市内中学校の選抜選手を対象にバスケットボールクリニックを開催することで競技力の向上はもとより、こどもたちに夢を与え、今後の大きな目標となるよう実施されました。クリニックは琉球ゴールデンキングス公式戦の前座イベントとして、沖縄アリーナにて行われました。

1/25



「与儀ファイターズ」県大会準優勝！

少年野球チーム「与儀ファイターズ」の安里拓巳監督とチーム所属の児童18名が市役所を訪れ、桑江市長に大会の結果報告を行いました。

与儀ファイターズは市内の幼稚園生から小学生児童55名が所属する野球チームで、昨年12月に行われた「第144回沖縄県学童軟式野球大会」準優勝、「第144回秋季沖縄ブロック少年野球大会」中学年の部優勝・代表の部優勝という成績を収めました。県大会では惜しくも優勝を逃しましたが「来年は優勝旗をもって報告に来たいです」と話しました。

1/26



美原クラブ 九州大会で初優勝！

美原クラブサッカーチームの選手8名と安慶名盛光監督等が市役所を訪れ「第8回九州ジュニアフットサル大会U-12」において優勝したことを桑江市長に報告しました。

大会では九州エリア全16チームが接戦を繰り広げ、決勝戦では県同士のFCヴォルティダ（名護市）と対戦し、8-4で美原クラブが初優勝を勝ち取りました。

子どもたちは「次の大会も勝ち抜きたい」と意気込みを伝え、あいさつの場面では各々憧れの選手や目標を挙げて「将来はプロサッカー選手になりたい」と話しました。

1/26



本物を体感!バルサエリートプログラム

サッカーチーム「FC泡瀬」に所属する、泡瀬小3年生の宮城太一さんと伊舎堂旭さんが「バルサアカデミーサマーキャンプ2022」で選手として高い評価を受け、11日間の「バルサエリートプログラム」スペイン遠征メンバーに選出されました。

現地では、特別クリニックで指導を受け技術を学ぶほか、FCバルセロナトップチームの試合観戦や大会参加などを予定。

宮城さんは「色々なことを学んで帰って泡瀬小学校のみんなに伝えたい!」、伊舎堂さんは「目標は遠征メンバーのMVPをとること!」と期待に胸を高鳴らせる様子が伺えました。

2/6



コザクラブ 6年ぶり快挙！

沖縄市を中心に活動する実業団ラグビーチーム「コザクラブ」の伊禮周主将と森東正志監督等が市役所を訪れ、桑江市長に九州大会の結果報告を行いました。

コザクラブは、昨年12月に開催された「第48回全九州クラブ・実業団大会」にて優勝し九州制覇を成し遂げ、1月15日開催の九州トップクラブリーグ入れ替え戦では熊本サンデーズに41-8で勝利をつかみ、再昇格を成し遂げました。

九州トップリーグへの復帰は、2017年以来6年ぶりとなります。

1/18



平和への思いを未来へ受け継ぐ

戦争の悲惨さ、命の尊さなどを学び、平和への思いを継承していく人材育成を目的とした平和大使研修の報告会が市役所で行われました。

今年度は、中学生17人と社会人3人の平和大使が認定され、1年を通して、県内の戦跡巡りや福岡県と長崎県での県外研修を行い、その成果を報告。保護者らが見守る中、一人一人が平和への思いを述べました。

1/24



守ろう、気にかけてよう!虐待防止講演会

高齢者虐待への理解と認識を深め、虐待防止に寄与することを目的に「令和4年度沖縄市高齢者虐待防止講演会」が市産業交流センターで開催されました。

講師に社会福祉士の石川和徳氏を迎え、人権を尊重するための権利擁護の理念や当事者の気持ちを尊重するための意志決定支援の基本原則を学び、人権と権利の視点から高齢者や社会的弱者の虐待予防について考えました。

1/24



バスターミナル×KOZA 講演会

市が進める胡屋・中央地区のバスターミナル整備について、訪れたい未来を見据えたまちの構想をイメージすることを目的に、沖縄市民会館中ホールで講演会が開催されました。

講師を務めた株式会社オガールの岡崎正信代表取締役は、盛岡バスセンターを整備した経験に触れ、「地域の皆さんが当事者となって、誇りある価値を一緒につくることが大事」と話しました。

1/25



バスケットW杯!給食に世界の料理が登場!

FIBAバスケットボールW杯2023が沖縄アリーナにて開催されるにあたり、全国学校給食週間に合わせてW杯に関連した献立が市内小中学校で提供されました。

中の町小学校では、前大会準優勝のアルゼンチン料理のチョリパン、カルボナーダなどが提供され、児童からは「食べたことのない味のシチュー、美味しい」と話していました。

1/26



地域を支え合いを表彰!

市内で行われている高齢者が中心となった住民主体の支え合いの活動を「沖縄市暮らしの中のお宝」として認定し、沖縄市民小劇場あしびなーで発表会が行われ、桑江市長より2個人・8団体へ、その支え合いに感謝と敬意を表し、認定証が贈呈されました。「お宝発表会」では取り組み内容の紹介やインタビューが行われました。

1/31



「自分らしさ大事に!絵本で伝えたい

東京都中野区出身で沖縄市在住のイラストレーターしんたにあきこ氏が絵を描いた「テントウミツバチバツカマキリクワタムシ」を沖縄市立図書館へ3冊寄贈しました。

しんたに氏は「自己肯定感を育てる絵本。沖縄のこどもたちにも自分を思う気持ちの大切さを伝えたい。大人の心にも響き楽しめる絵本です」と話しました。

1/30



ミス・ティーン代表に選出!世界大会へ

沖縄東中2年生の藤田芽生さん等が市役所を訪れ、昨年12月に開催された「ミス・ティーン・インターナショナル2023日本大会」でアジアオセアニア代表に選出され、7月に開催される世界大会に出場することを桑江市長に報告しました。

ベストドレス賞と世界の人気投票1位の特別賞も受賞した藤田さんは「世界大会に向けて表情やウォーキング技術を磨きたい」と意気込みを語りました。

1/20



大規模災害時の生活を守るために

令和4年度沖縄県総合防災訓練の一環で、沖縄県、内閣府沖縄総合事務局、市主催の「物資輸送・拠点運営訓練」が沖縄アリーナで行われました。

大規模災害発生時に、迅速かつ的確に被災者のもとへ食料や生活用品を提供するための物資輸送訓練を中心に、参加機関の役割確認などが行われ、いつ起こるか分からない大規模災害への備えと防災意識向上を図る取り組みとして実施されました。

1/20



キングスのバスケットボールが市内中学校へ

沖縄バスケットボール株式会社の白木享代表取締役社長等が市教育委員会を訪れ、琉球ゴールデンキングスが使用した練習用バスケットボールを市内8中学校の男子バスケットボール部へ寄贈しました。

白木代表取締役社長は「キングスが使ったボールを使うことによって、将来キングスに入りたい、プロになりたいと夢を持つ子が沢山出てきたら嬉しい。我々の使命はスポーツを通じて、社会を元気にしていくこと」と話しました。

1/27



誰もが使いやすい公園づくりを目指して

障がいの有無に関わらず、すべての人たちが楽しめる公園づくりを目指す、沖縄公園等バリアフリー化推進協議会の親川修事務局長等が市役所を訪れ「沖縄ユニバーサルデザイン公園等建設指針」改訂版を発行したことを桑江市長に報告しました。

指針には、遊具や水飲み場などのバリアフリー化だけでなく、災害時には障がい者も避難所として利用可能な設計が盛り込まれ、公園整備や今後の施設づくりに活用されます。

1/27



地域福祉の向上に感謝と期待

令和4年度 沖縄市民生委員・児童委員退任者27名への感謝状贈呈式、並びに新任者13名への委嘱状交付式が市役所にて行われました。

民生委員・児童委員は地域住民の一員として高齢者を見守り、こども達の健やかな成長を助け、防災に強い住みよいまちづくりを目指して活動しています。

2/5



迫力満点「e-sports Festa 2023」

ITワークプラザがモニター付き会議室や高速Wi-fi環境を備え、テレワークやオフィスに活用できるコワーキングスペースとして改修し、施設の魅力をより多くの人に知ってもらうため「e-sports Festa 2023」を開催しました。

大会種目は鉄拳7とストリートファイター5。迫力の音響と大スクリーン映像に、観戦者からは思わず歓声が上がると、会場一体となって盛り上がりました。

1/25



浅沼祐子氏「法務大臣表彰」受彰

中部保護区保護司会の浅沼祐子氏等が市役所を訪れ、法務大臣表彰を受彰したことを桑江市長に報告しました。

浅沼氏は、平成18年2月より保護司として活動を始め、罪を犯してしまった人や非行のある青少年に寄り添い、改善更生へ導くために、約16年間にわたり自立支援を行ってきました。

今回その実績が評価され、令和4年12月6日に開催された「令和4年度沖縄県更生保護大会」において、受彰に至りました。

1/28



長年の経験と優れた技術を表彰

長く同一職種に従事し、技能の練磨及び後進の育成など、職種の発展に寄与した優秀な技能者の功労をたたえ、技能労働者の社会的及び経済的地位の向上を図ることを目的とした「沖縄市技能功労者表彰式」が、県総合運動公園内体育館で行われました。

被表彰者（敬称略・順不同）／栄野比剛（配管工・従事年数39年）、嘉手納徳彦（自動車修理工・従事年数30年）、米嵩徳次（自動車修理工・従事年数46年）、栗國努（鍛冶職・従事年数33年）、比嘉洋（調理師・従事年数40年）

1/31



町田初子氏「緑綬褒章」受章

沖縄市食生活改善推進員の町田初子氏等が市役所を訪れ、桑江市長に緑綬褒章を受章したことを報告しました。

町田氏は、昭和63年より沖縄市食生活改善推進員として活動を始め、市協議会役員を経て県協議会役員に就任し組織の強化と会員の育成に尽力しました。

ミニ健康展などのイベントや、学校等に出向いての啓発活動など、現在に至るまで35年にわたり地域で食を通じた健康づくりの推進・普及に力を注いでいます。

姉妹都市紹介 山形県 米沢市

2/11
・12

上杉雪灯籠まつり

～やわらかな灯りに包まれ 平和な未来を願う～

本市の姉妹都市である山形県米沢市の冬の風物詩「上杉雪灯籠まつり」が、に上杉神社境内と伝国の杜一帯で開催されました。

まつり会場には、米沢市民が製作した166基の雪灯籠をはじめ多数の雪ぼんぼりなどが設置され、ローソクにやわらかなあかりが灯されると、温もりと美しさが溢れる幻想的な雰囲気になりました。

現代の平和の礎となった戦没者の御霊に献灯する鎮魂祭、米沢牛を使った様々なグルメのほか県内外の名産品が味わえるテント村物産展、ダンスなど多彩なステージイベントも行われ、訪れた約10万人の来場者は冬の米沢を満喫しました。

